

ホームと家族を結ぶ

おとぎずり168号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルプステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : ninunsou@gmail.com

<http://ninun.or.jp>

編集・発行

任運荘広報委員会



工藤イツヨさん



清松ノブコさん



河原雪夫さん



高山サヨ子さん



高倉ユリ子さん



穴見フジエさん



甲斐重信さん



飛賀アヤ子さん



河野ハル子さん



吉良吉徳さん

1月5日午前10時よりホールにて開催されました。縁起の良い言葉や季語をお手本に、皆さん一生懸命書かれました。最初は「手が震ゆる、書ききらんでえ、せつちい、やめようえ」と困った顔でしたが、一旦筆を持つと、さらさら。昔から筆を持つ習慣が多かった皆さんは、久しぶりであっても筆を持つ姿は美しく、今年もたくさんのお品が出来あがりました。 担当 森園美

2023年新年書き初め大会

「幸先の良い明るい一年のスタート」

初笑いで福を呼び込もう

新年お楽しみ会

午前の部は、職員の踊りです。①河内おとこ節 ②旅傘道中 旅芸人風の姿に歓声があがりました。次に利用者対職員の羽根つき大会。真剣勝負で挑みますが利用者の腕が数段上です。負けた職員がバタバタと転がっている中、平井綾子さんは「私たち子どもん頃、むくろの実に穴を開けて鶏の羽で玉を作りよったんよ」と懐かしそうに話してくれました。

お屠蘇が出てくると、もうこれは「お正月だ」という雰囲気。朱色の盃を一気に飲む方、口をつけるだけの方、「おかわり」と言われる方と様々でした。終わる頃には皆さんの頬はほんのりとしていました。

昼食は、厨房手作り「お節」が振舞われました。栄養士さん手作りの「うさぎの折り紙」付き。利用者はお重のふたを開けると「ほお〜美しいなあ」と顔がほころんでいました。

午後の部、卓上ゲームでは「歌カルタ」や「福笑い」、おみくじでは、お菓子と職員の肩もみや足や手指マッサージのおまけ付き。普段、ゆつくりとかかわる事が少ないので職員も張り切っておりました。利用者は「手や肩が、やおとなった(柔らかくなった)」と喜ばれました。最後にカラオケ大会です。皆さん自慢の喉を披露しました。飛賀アヤ子さんは十八番「荒城の月、広瀬中尉の歌」をしっかりと歌われ、皆さんも一緒に口ずさんでいました。

コロナ禍で緊張した毎日ですが、施設の生活の中にあるささやかな喜びを大切に今年も頑張ります。

担当 森 園美



三浦光代さん、カルタたくさん取ってね



後藤ツワさん、お屠蘇大丈夫ですか？



工藤久子さんは踊り子とのツーショット



厨房手作りのおせち料理



衛藤秋光さん、盃を持つ姿がかっこいい！



山地智恵子さん、羽子板持って笑顔

新年のご挨拶

あけましておめでとうござい
ます。

お健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。
日ごろから任運社事業にご
理解とご協力を賜り心よりお
礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの
影響下で入居者やご家族の皆
さまをはじめ、関係各位には
大変不自由をおかけしまし
た。おかげさまで入居者の
方々の感染は防げたのです
が、まだまだ緊張を強いられ
ています。

年頭に当たって早期の日常の
回復を願ってやみません。
皆さまにおかれましては本
年が良い年となりますようお
祈り申し上げます。

令和5年元旦

社会福祉法人任運社

理事長 廣本賢郎

クリスマス会&忘年会

12月22日(木)に、毎年恒例『任運荘クリスマス会&忘年会』がホールで開催されました。

最初に、利用者と職員で『シングルベル』の合唱を行い、続いて職員によるアトラクションです。最初は、タキシード姿の工藤寮母が『東京キッド』の曲に合わせて軽やかなステップを披露しました。二つ目は、任運荘劇団による寸劇『みそちがひ』です。劇団員は、面白おかしい姿に化けて方言丸出しのアドリブでの演技に、利用者の皆さんは大笑い。「久しぶりに腹を抱えるくらい笑ったわ」と言われる方もいて、劇は大盛り上がりでした。三つ目、工藤寮母の踊りで『柔(やわら)』です。袴姿の凛々しい姿で利用者の前に登場すると「かっこいい」と声がかかりました。

最後は職員全員で『愛のしるし』のダンスです。必死に練習した成果を利用者の前で披露しました。

午後からは、クリスマスケーキとプリンを食べ、その後はカラオケ大会で、十八番の歌を披露してくれました。 担当 馬場 由希子



工藤寮母の凛々しい姿。『柔』の一場面



芦刈トヨさんも踊ってました！



小道具も全て手作りの寸劇「みそちがひ」



利用者の笑いが絶えなかったです



寸劇より、宮崎相談員と吉野施設長



穴見富貴子さん、ケーキですよ



山内スマエさん、ケーキを前に笑顔



渡邊キヨさんは真剣な眼差しで



後藤ツユ子さん、ケーキをどうぞ



三代千恵子さん、プリンですよ



加藤エミコさん、美味しいですか

誕生者紹介

10月生

佐藤 シズコさん (86歳)



ニコツと笑ってくれる姿、そして黒髪が素敵な佐藤さんです。
担当寮母 馬場 由希子

嶺 八千代さん (97歳)



訪室時に、「嶺さん、こんにちは」と挨拶すると、「はい。こんにちは」と、素敵な笑顔で返事してくれます。
担当寮母 佐藤 美和

渡邊 キヨさん (94歳)



職員との会話では、時々冗談交じりで答えてくれ、私達を笑顔させてくれる楽しい方です。
担当寮母 高橋 みのり

兒玉 マヨさん (92歳)



食事をしっかりと味わいながら召し上がられ「美味しかったよ」と笑顔で言われます。笑顔が素敵な優しい方です。
担当寮母 河野 憲恵

伊東 晴子さん (81歳)



「伊東さん」と手を取りながら声をかけると「フツ」とほほ笑んで、私の手を握り返してくれます。穏やかで優しい方です。
担当寮母 伊東 菜保美

三代 智子さん (88歳)



休み明けに出勤した時、「おはようございます」と声をかけると、「あんな元気にしちよったんな」と、笑顔で話してくれます。その笑顔に元気をもらっています。
担当寮母 酒井 結奈

衛藤 秋光さん (88歳)



毎朝元気な声で、ホールにいる利用者の皆さんに、日付と時間を知らせる事が衛藤さんの日課となっています。
担当寮母 河野 憲恵

佐保 ハツ子さん (100歳)



百歳おめでとうございます。ミルクキャラメルが大好きで、食べられている時の笑顔は最高です。いつも優しく丁寧な言葉でお話をします。
担当寮母 西原 怜菜

高山 サヨ子さん (93歳)



エプロンたたみなどのお手伝いをお願いすると「いいわよ」と笑顔で引き受けてくれます。言葉がすごく優しく、誰とでも楽しそうにお話をされます。
担当寮母 宮脇 理恵

佐藤 静子さん (95歳)



体調を壊されて入院した時はとても心配しましたが、無事に退院されてホツとしました。食事もしっかりと食べ、日に日に元気を取り戻しています。
担当寮母 伊東 菜保美

12月生

加藤 スマコさん (95歳)



食事ではデザートが一番好きです。特に甘い物の時は「これは甘くて美味しいな」と笑顔で喜ばれます。

担当寮母 羽田野 瞳

山地 智恵子さん (92歳)



声をかけると「はい」と優しい笑顔を見せてくれます。普段は寡黙な方ですが、行事の時は、職員の動きを真似と一緒に踊ってくれます。

担当寮母 馬場 由希子

高倉 ユリ子さん (102歳)



「ありがとうございます」と、職員にいつも感謝の言葉を伝えてくれます。行事にも必ず参加され、とても素敵な笑顔を見せてくれます。

担当寮母 木本 佳代子

佐藤 ルリコさん (75歳)



私が飼っている猫の写真を見てもらいながら猫の話をしていたら、佐藤さんはほほ笑んだ表情で話を聞いてくれました。

担当寮母 高山 悦子

麻生 正治さん (86歳)



いつも元気に大きな声で返事をしてくれます。麻生さんとの話が面白くて、私たちを笑顔にさせてくれる素敵な方です。

担当寮母 高倉 智恵

河原 雪夫さん (92歳)



「爪を切りますよ」と声をかけると「いつもすまん」と答えてくれます。爪切り後は爪の確認をして「きれいに切ってくれてありがとうございます」と言ってくれます。

担当寮母 小平 菜穂子

芦刈 トヨさん (92歳)



息子さんから誕生日ケーキの差し入れがありました。芦刈さんはろうそくの火を吹き消そうとしましたが、上手く火が消えずに「あはは」と大笑いされました。

担当寮母 長門 昭子

志賀 フキエさん (98歳)



昨年は体調を崩して心配しましたが、車椅子を自走されるまで元気になりました。今年一年は健康で過ごしましょうね。

担当寮母 渡辺 加代子

吉良 吉徳さん (85歳)



入居して二ヶ月が過ぎました。「この生活もいいよ」と笑顔で話してくれました。他の利用者とオセロを楽しまれています。

担当寮母 羽田野 瞳

河原 ヨシ子さん (93歳)



「おはようございます」と朝の挨拶で訪室すると、私の顔をじつと見つめて領いてくれます。毎日、穏やかに過ごされています。

担当寮母 酒井 結奈

加藤 アミノさん (95歳)



最近、綺麗な声で童謡を歌ってくれます。歌っている時の笑顔は、とても素敵です。

担当寮母 木本 佳代子

1月生

年齢は令和5年1月末現在

佐保ハツ子さん「百歳祝」

令和4年11月17日に任運荘アネックスにてお祝いの会が催されました。

佐保さんは、川野豊後大野市長より賀寿を受け取ると、市長に変わり、すらすらと読み上げ、皆さんを驚かせました。続いて吉野施設長より、慶祝状、記念品の贈呈と「私たちの目標であり誉であります。本人の芯の強さとご家族の支えもありこうして元気に百歳を迎えられました。百歳が一つの節目ではありますが、これからは一年一年をお元気に長生きをされるようにとご支援して参ります」と祝辞を述べました。ご家族を代表して息子さんのご挨拶では「倒れた時は本当に良かった」と涙ぐまれていました。ご本人からは「こんなに長生きするなんて思ってもみなかったわ。皆さんのおかげです」と挨拶され和やかに会は終了しました。

「プロフィール」

大正11年11月17日緒方町下自在に4人兄妹の長女として誕生され、この日は緒方駅開業の記念行事があり良いことが重ねてあったと聞かされていそぐです。佐保さんは、才気煥発で茶道は表千家、華道では京都本願寺未生流の免許をお持ちで、俳句では大分合同新聞に特選で何度も掲載されました。97歳まで現役でお弟子さんが通われていたそうです。担当 森

・白木蓮の一穢やくなくちかひぞり

(真っ白な木蓮の花が一点の汚れも無く美しい)

・雨音を春の鼓動と聴く目覚め

(身のほとり有情無情や花は葉に)

(華やかに咲き誇った桜も葉になる世情を詠む)

・若菜摘むけふは四温の野にありて

(送る梅けふ漬け終はりたる安堵)

(子ども達に送る梅漬けが終わってほっとする)



ご家族・川野市長との記念撮影

「勢いよく飛ぶ豆！」に福到来

2月2日(木)午後ホールにて節分行事を開催しました。

鬼に扮したのは相談員二人。少々太めの赤鬼、青鬼は迫力満点。年女は、清松ノブコさん、佐藤静子さん、加藤スマコさんです。一投目は代表で清松さんに投げて頂きました。「鬼は外！」と握りしめていた豆を勢いよく投げつけました。「あいたあいた」と逃げる鬼の背中に向かって、またもや豆の攻撃！容赦ありません。ホールで待ち構えていた皆さんも一斉に豆を投げていました。こうそり食べておやつにしている利用者は、鬼にも「はい、どうぞ」と渡していました。優しい心に鬼は感激したようでしたが、それもつかの間、豆の攻撃は止まずとうとう鬼たちは、退散し節分行事は無事終了しました。

ホールいっぱいには気持ちよく豆をまき、厄払い出来たので、皆さんにたくさん福が到来すること間違いなしです。その後、レクリエーションで鬼の箱に紅白の玉を入れるゲームを楽しみました。

担当 森 園美



堀右橘さん、鬼と睨めっこ



鬼の登場！



かわいい鬼発見(秦町子さん) 「鬼は外、福は内」



玉入れゲームをしました



鬼は豆攻撃に負けました

つぶやき

岡部 ヒサヨさん

天気が良かった日。
「人間は、おてんとう様にあたらないけん。おてんとう様にあたらないダメになる」と言われ戸外散歩に行きました。

麻生 正治さん

よく歌われている麻生さん。どんぐりころころを歌っていたので聞いてみると、「どんぐりころころ」

また、別の日は、

「お手で しなぐでえろ カラスと一緒に帰らまじよう」と、途中から歌が変わり、ほっこりしました。

佐藤 ルリコさん

雪の日。職員が「佐藤さん、外の雪が見えますか。椿の葉も真っ白になりましたよ。土の部分は、もう真っ白です」と言うと、佐藤さんは目を大きくして、木々に積もった雪が見えると合図(うなずく)してくれました。

三浦 光代さん

お風呂帰りに間違って玄関の方へ来られたので戸外散歩へお連れした。

「こんな良い事があるなら、また、道を間違えまじよう」と笑顔。

山地 智恵子さん

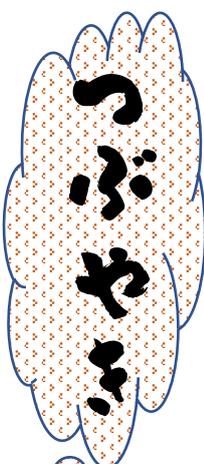
利用者職員対話会の時、食べたい物を聞いてみると、

「お肉が好きーすき焼きが食べたいです」と答えてくれました。

山内 スマエさん

利用者職員対話会の時、食べたい物を聞いてみると、

「あんぱんが食べたいです。あんぱんが一番です」と笑顔。



平井 綾子さん

雪が降ってきた朝、
「ま、珍しいもんが落ちてきたなあ。外はさぶかす」と、職員の心配をしてくれました。

高山 ヒサコさん

メドマーとマッサージをしている時、

「マッサージしたら、長生きするわ」と笑顔。

志賀 フキエさん

メドマーとマッサージをしている時、

「あゝ気持ちいい。んまま天国に行きまじよう」と笑いながら言われる。

芦刈 トヨさん

芦刈さんは職員の事を『先生』と呼びます。男性職員が芦刈さんの食事のお手伝いをしていた時、芦刈さんが職員の手を握り、「先生の事が一番好きじゃ」と笑顔で言われる。職員も「ありがとうございます。私も芦刈さんが好きですよ」と答えた。そして別の日、女性職員が食事のお手伝いをしていた時に芦刈さんが「先生の事が一番好きじゃ」と、今度は女性職員に言っていた。

夕食を食べ終わった芦刈さん。そこには芦刈さん以外に4人の利用者がいらっしやうた。芦刈さんは「皆んと食べる食事は美味し」と、ニコニコ顔。

徒競走の成績について聞いてみました。

穴見 フジエさん

「私は一等ばっかりじゃった」と自慢顔。

工藤 イツヨさん

「ちゅくねえじゃったな」

後藤 ヨシミさん

「私も一等……うそ(笑)。足が遅くてな、ちゅくもげつらでこの事じゃった」と、笑いながら答えてくれた。

吉良 吉徳さん

「尻から数えた方が近かったかな。ハハハ」



愛媛から『真穴みかん』 真心(まごころ)のみかん

愛媛県の脇坂先生から皆さんに、真心のこもったみかん『真穴みかん』が届きました。利用者は「甘い」や「美味しい」と、笑顔でいっぱいです。また、ある利用者の方は「こんなみかんは初めて食べた。このみかんの木を家に植えよう」と、大絶賛されました。

脇坂先生、毎年美味しいみかんを利用者の皆さんにありがとうございます。みかんを食べて、皆さん元気に過ごされています。

担当 宮崎 正規



村上昌子さん、美味しいでしょう。



後藤ヨシミさん、甘かったですね。



志賀フキエさんから感謝のお言葉



平井綾子さん、二つ食べますか？

『恒例の干し柿づくり』

昨年の11月8日ホールで干し柿づくりをしました。今年は例年になく中庭の柿が鈴生り。利用者はカラスが来ないか半年前から見張番をしてくれていました。「甘い柿になあれ」と祈りを込めて剥きました。



たくさん柿が生りました



岡部ヒサヨさん「立派な柿です」



出来ました ←



皆さん皮むきに一生懸命です



三代智子さんは甘柿を食べました

新型コロナウイルス関連、ロシアのウクライナ侵攻のニュースで今年もあけました。平素より任運荘へご協力下さり心より感謝申し上げます。
任運荘では幸いにも現在までクラスター(集団感染)発生しておりません。職員も週に二回の抗原検査を自宅で行い、陰性確認後に出勤する等の予防対策をしております。施設内の行事も小さいながらも開催でき、皆様の歌声や笑い声がホールから聞こえてきます。今後は、「ふるさと訪問」もご家族様のご都合や状況をみて行いますので是非お声がけ下さい。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
施設長 吉野 明子

★広報委員のひとり言

任運荘でも節分行事で豆まきを行いました。ただ、例年との違いは、今年は私の実家で行った事です。保育園の娘は「今年の鬼はじいちゃんかしてえ」と祖父におねだり。祖父も嬉しそうに鬼を演じて、息子と娘は「鬼は外、福は内」と豆まきを例年以上に楽しんでました。来年は、一番下の息子も参加するかなと今から楽しみです。

◎

この広報誌は任運社ホームページでもご覧になれます。『カラー』です。「任運社」で検索して下さい。